

建設現場 安全衛生自主点検 結果

(令和3年度 全国安全週間用)



東京労働局
王子労働基準監督署

管内建設業者及び建設現場に対して、令和3年度全国安全週間における安全衛生管理活動を確認するための「安全衛生自主点検」を実施し、60事業場から回答があり、その結果を取りまとめたものです。

安全衛生自主点検表

建設現場 安全衛生自主点検表 (全国安全週間用)

この点検表は、全国安全週間(準備期間)において、各事業場で実施いただく安全衛生管理活動を確認するものです。点検が完了しましたら、FAX、郵送等によりご報告をお願いします。(この用紙のみ報告可)
 <報告先: FAX 03-3901-3612 王子労働基準監督署 第二方面 7月9日までに報告下さい>

事業場名	元請 工事名	現場所在地	
点検日	年 月 日	担当部署 連絡先	部署名 TEL

※該当しない項目は、未チェックで構いません

1. トップ等による現場の安全点検

番号	点検項目	点検結果
1	安全衛生管理体制及び安全衛生教育の実施状況の確認	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
2	安全/ハットル等による職場の総点検の実施	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3	トップ等による安全訓示等を通じた安全意識の高揚	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2. リスクアセスメントの確実な実施

1	設計・計画段階におけるリスクアセスメントの実施及び結果に基づくリスク低減措置の実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
2	SDSによる把握した危険有害情報に基づく化学物質のリスクアセスメントの実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

3. 墜落・転落災害防止対策

1	高所作業における作業床・手すりの設置	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
2	墜落制止用器具の確実な使用の徹底(原則はフルハーネス型)	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
3	適切な墜落制止用器具の選定、使用	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
4	足場等のより安全な措置の実施(枠組足場の上さん、枠組足場以外の構木等の設置)	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
5	足場の組立・解体等について、手すり先行工法の採用	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
6	足場の組立・解体等作業における作業主任者の選任と職務の実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
7	フルハーネス型墜落制止用器具使用作業、組立・解体等業務に従事する労働者の特別教育の受講	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
8	足場の組立・解体等作業の点検の実施(組立・解体後、悪天候時、足場上で作業を行う前)	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
9	開口部や作業床の端に、注意喚起の表示等の「見える化」	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

4. 建設機械、クレーン等の災害防止対策

1	適切な機械の選定等、リスク低減措置を盛り込んだ計画や作業手順書の作成と実施の徹底	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
2	建設機械・クレーン等の転倒又は転落災害防止対策の徹底	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
3	作業範囲内の立入禁止措置や作業指揮者・誘導員の配置等の挟まれ・巻き込まれ災害防止の徹底	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
4	荷のつり上げ作業時における荷姿や玉掛け状況の確認及び吊り荷下への立入禁止の徹底	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
5	運転者、玉掛け作業、作業主任者等の有資格者の配置	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

5. 倒壊・崩壊の災害防止対策

1	解体工事は、構造物の状況等の調査結果を踏まえた解体工法、作業順序、控えの設置方法、リスク低減措置を盛り込んだ計画及び作業手順書の作成と実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
2	強度・風荷重を検討の上での足場の構造	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
3	トンネル工事や斜面工事について、ガイドラインに基づく対策の実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

6. 「転倒」防止対策

番号	点検項目	点検結果
1	作業通路における段差や凸凹、突起物、継ぎ目等の解消	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
2	危険箇所の表示等の危険の「見える化」	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
3	4S活動等の徹底による作業床や通路等の安全確保並びに照度の確保	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
4	転倒災害防止のためのチェックリストを活用した安全点検の実施	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

7. 「交通労働災害」防止対策

番号	点検項目	点検結果
1	適正な労働時間管理、長時間運転の回避、最適な走行計画の策定等の走行管理	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
2	飲酒やながら運転の禁止、睡眠時間の確保等、運転者に対する交通安全教育の実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
3	運転前の健康状態(飲酒、疲労、疾病、睡眠、体調不良の有無等)、定期健康診断の実施状況の確認	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

8. 「不安全行動」による災害の対策

番号	点検項目	点検結果
1	危険軽視の行動を見逃さない職場風土づくりの推進	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
2	危険予知活動、ヒヤリハット活動、ひと声かけあい運動等の積極的な実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
3	近道・省略行為等のルール違反行為の禁止	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
4	職場のあんぜんサイト内の「見える化」安全コンクールの事例を参考にした見える化の取組	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

9. 安全衛生教育の実施

番号	点検項目	点検結果
1	職長・安全衛生責任者の能力向上教育の実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
2	「建設従事者」、「新規入場者」、「送り出し」等の安全衛生教育の実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
3	危険体験教育(安全帯ぶら下がり、挟まれ、VR活用等)の実施	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
4	外国人労働者に配慮した(理解できる方法)安全衛生教育の実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

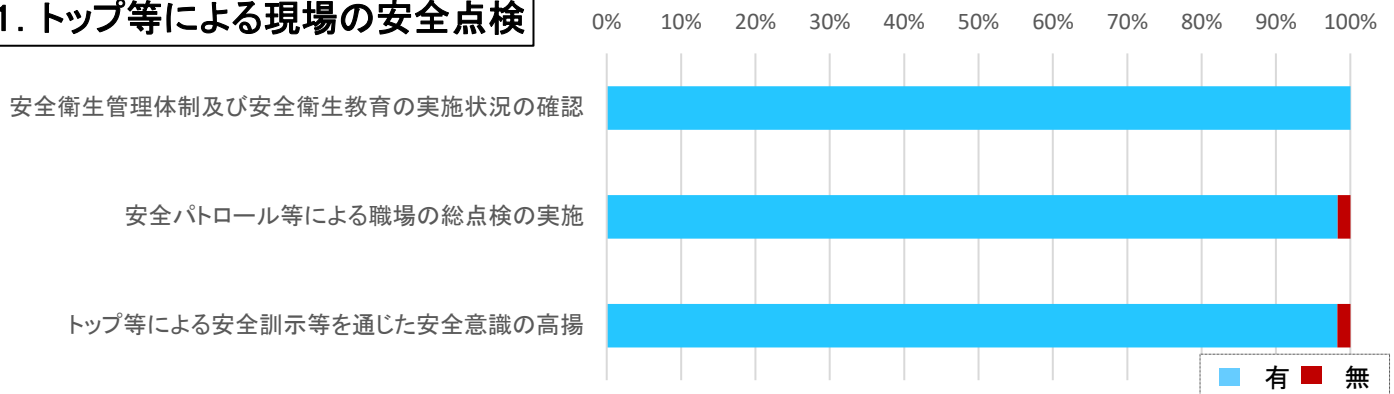
10. 職業性疾病的防止

番号	点検項目	点検結果
1	建築物等の解体・改修工事における石綿の事前調査及び石綿ばく露防止対策の確実な実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
2	アーク溶接作業の特定化学物質(R34改正)としての措置の実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
3	アーク溶接、金属の研磨、はつり・解体作業に係る粉じん障害防止対策	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
4	酸欠乏症や一酸化炭素中毒等の防止対策の徹底	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
5	腰痛及び振動障害の予防の徹底	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
6	作業環境にあった適切な保護具の選定と使用、各種保護具の使用前点検の実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

11. 「熱中症」予防対策

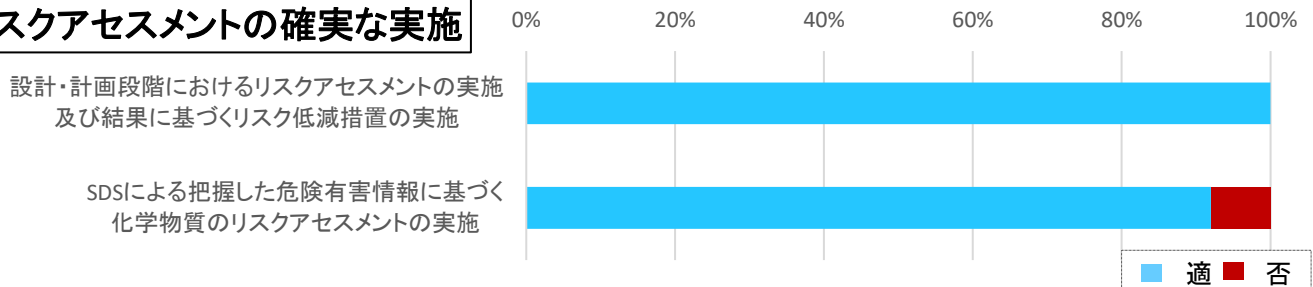
番号	点検項目	点検結果
1	作業場におけるWBGT値(暑さ指数)の把握	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
2	WBGT値に基づく適正な作業管理(作業環境、作業内容、作業時間等)の実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
3	計画的な熱への順化期間(暑熱に慣れ、その環境に適應する期間)の設定	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
4	自覚症状の有無にかかわらず水分・塩分の積極的摂取	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
5	熱中症の発症に影響を与えるおそれのある疾患者(糖尿病等)に対する配慮	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
6	日常の健康管理や健康状態の確認	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
7	熱中症予防に関する正しい教育の実施	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
8	異常時において、速やかに病院へ搬送や救急隊が要請される体制の整備	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
9	熱中症予防管理者を選任し、定期的な職場巡視等による健康状態の把握	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

1. トップ等による現場の安全点検



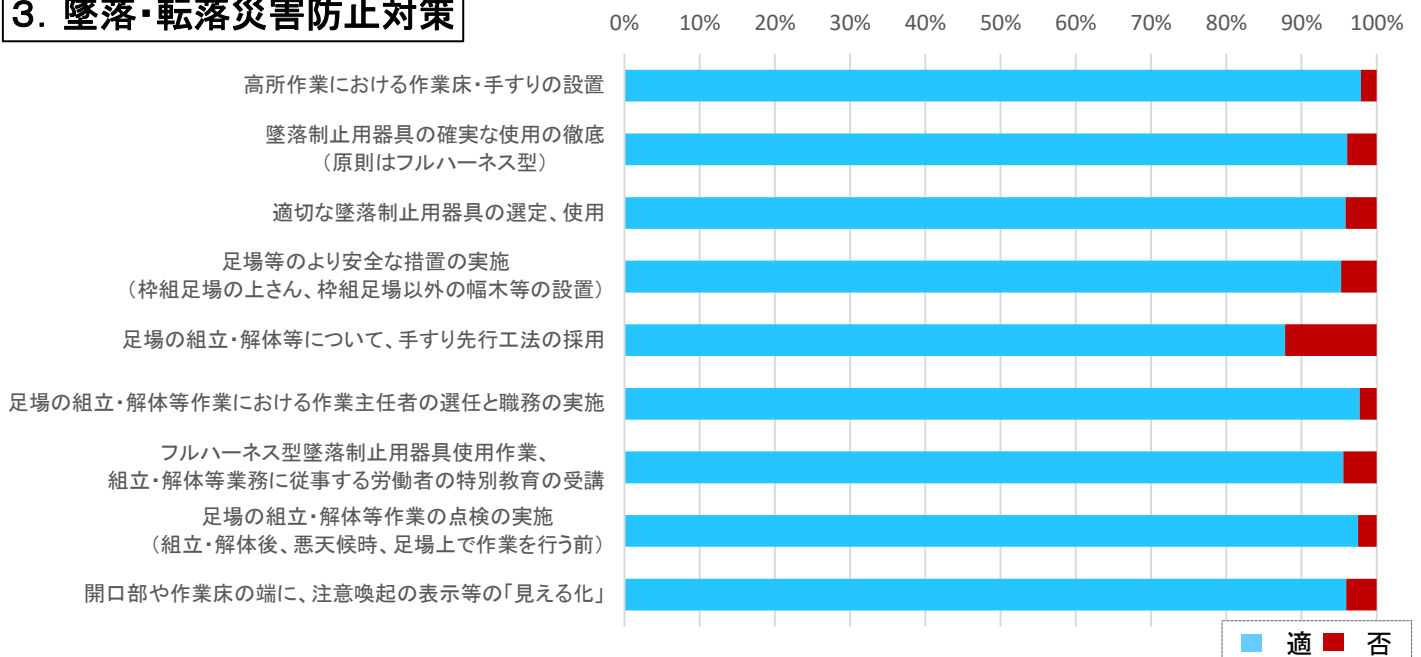
ほとんどの事業場において、トップ等による安全点検を実施と回答がされています。全国安全週間や年末年始の時期等、定期的にトップ等による現場の総点検の実施をお願いします。

2. リスクアセスメントの確実な実施



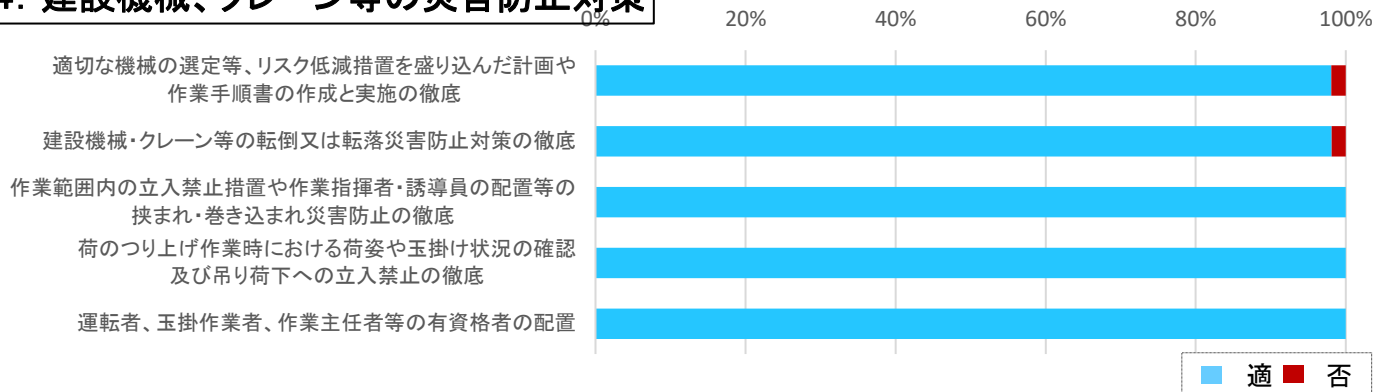
設計・計画段階でのリスクアセスメントの実施は100%が適と回答されています。工種ごとのリスクアセスメントの実施により、事前に安全対策が検討されるようお願いいたします。化学物質のリスクアセスメントについては、8%が実施否と回答されています。化学物質のリスクアセスメントは対象物質を使用するすべての事業場(現場)において実施が必要ですので、取組をお願いします。

3. 墜落・転落災害防止対策



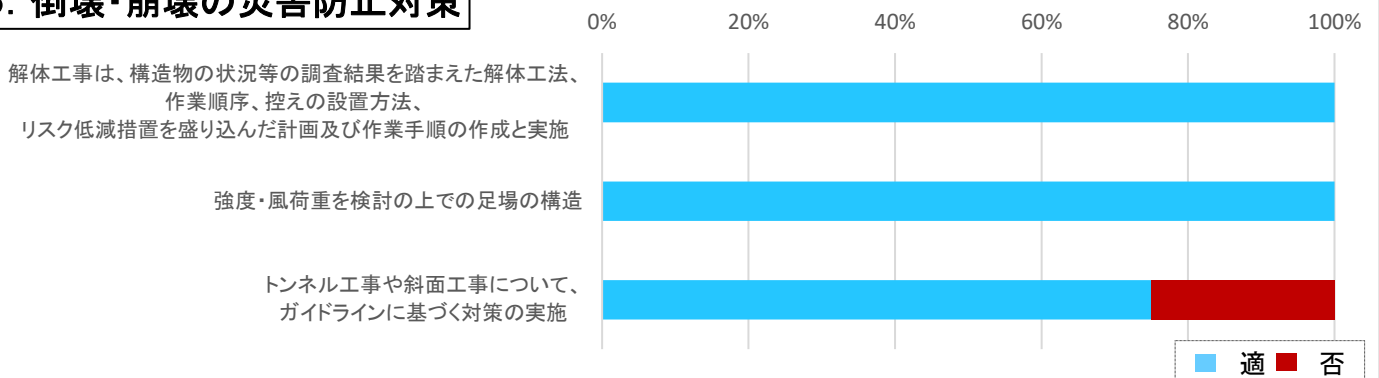
墜落・転落災害防止については、各項目において95%以上(手すり先行工法の採用のみ88%)が実施と回答されています。依然として建設業における死亡・重篤災害は墜落・転落災害が多くを占めていることから、墜落・転落災害防止を重点課題として各現場での取組をお願いします。

4. 建設機械、クレーン等の災害防止対策



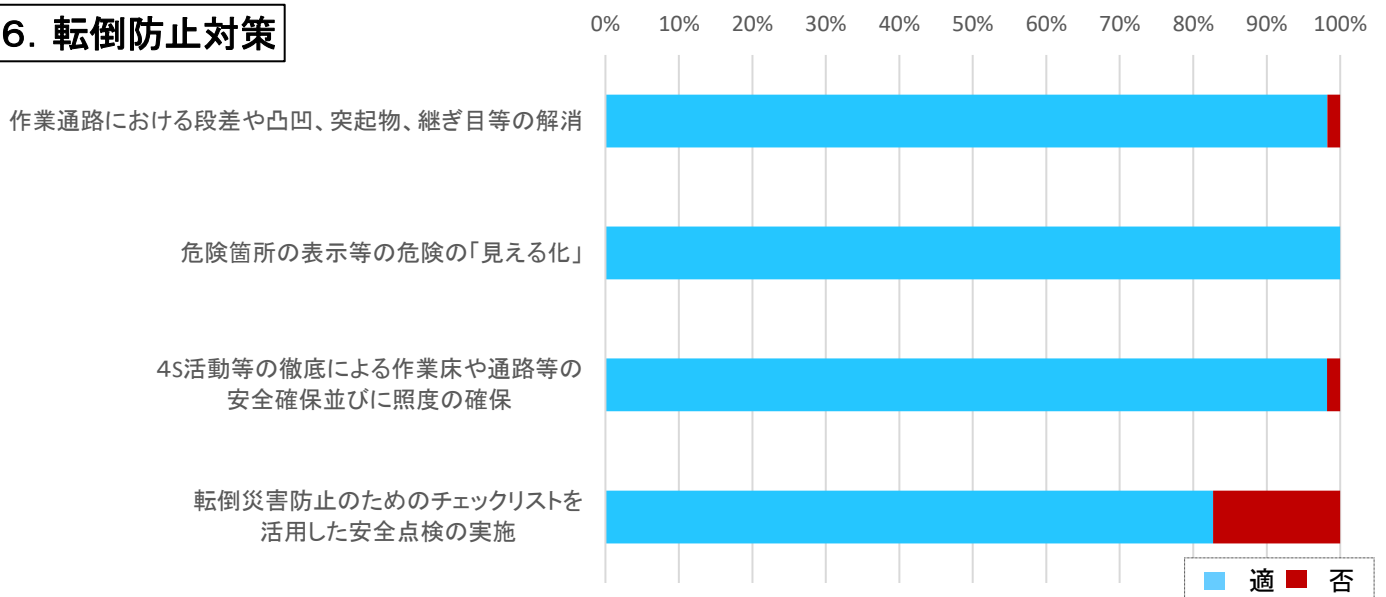
建設機械、クレーン等の災害防止については、ほぼ100%で実施がされていると回答されています。建設機械やクレーン等の災害は、重大な災害につながるおそれがありますので、引き続き取組をお願いします。

5. 倒壊・崩壊の災害防止対策



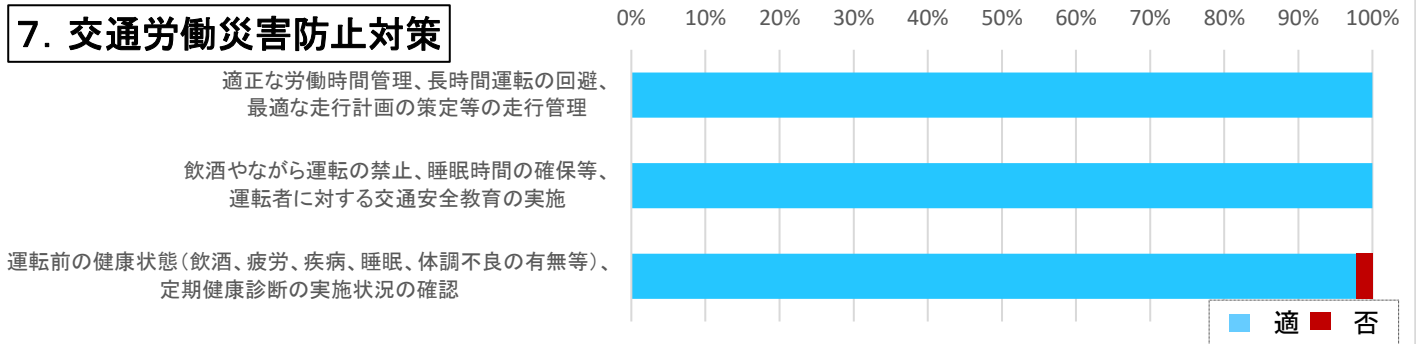
解体工事の安全対策や足場の強度検討等は100%が実施と回答されています。トンネルや斜面工事の該当現場については、ガイドラインに基づく対策の徹底をお願いします。

6. 転倒防止対策



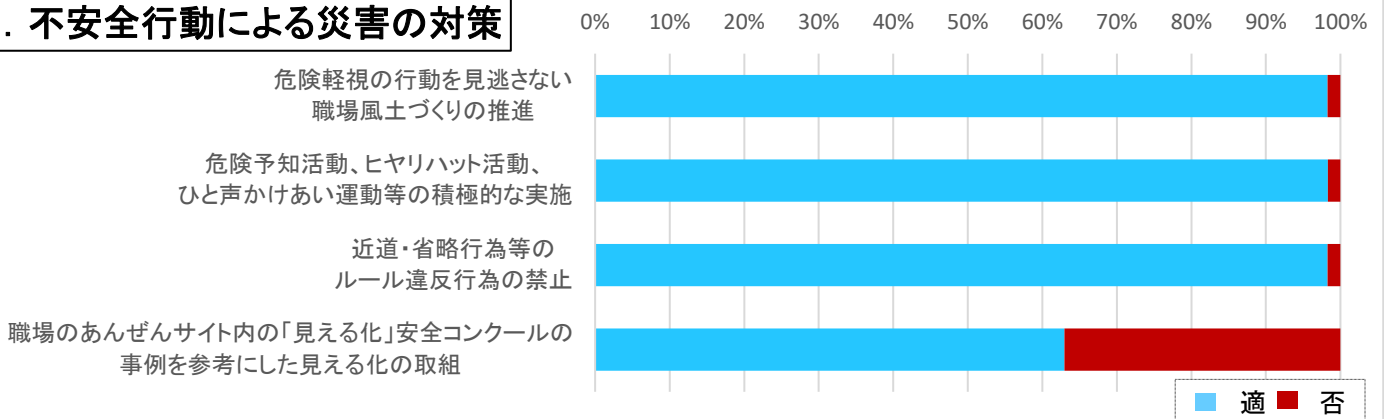
建設業においても、転倒防止対策を推進している状況がみられます。なお、チェックリストを活用した安全点検の実施が18%が無しと回答されています。厚生労働省で展開している「STOP！転倒災害プロジェクト」によるチェックリストや見える化安全コンクールにおける建設現場の転倒災害防止対策事例等を活用し、現場の転倒災害防止対策の強化をお願いします。

7. 交通労働災害防止対策



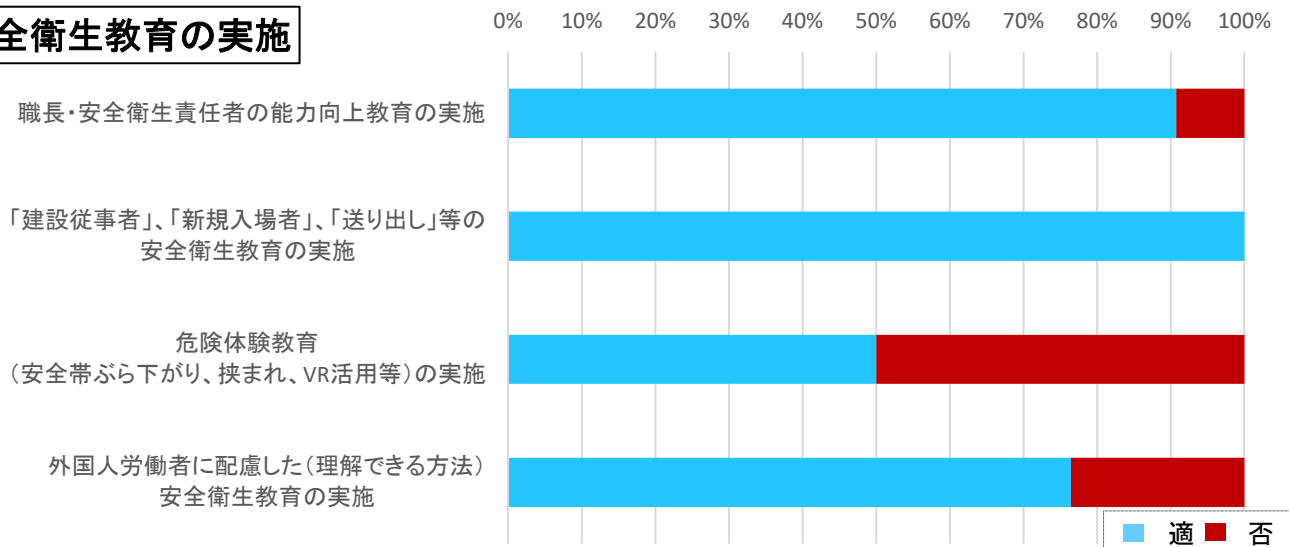
交通労働災害防止の取組も概ね実施がされていると回答されています。
自宅から現場間、事務所から現場間における自動車等の運転及び現場の警備等における交通労働災害防止の推進をお願いします。

8. 不安全行動による災害の対策



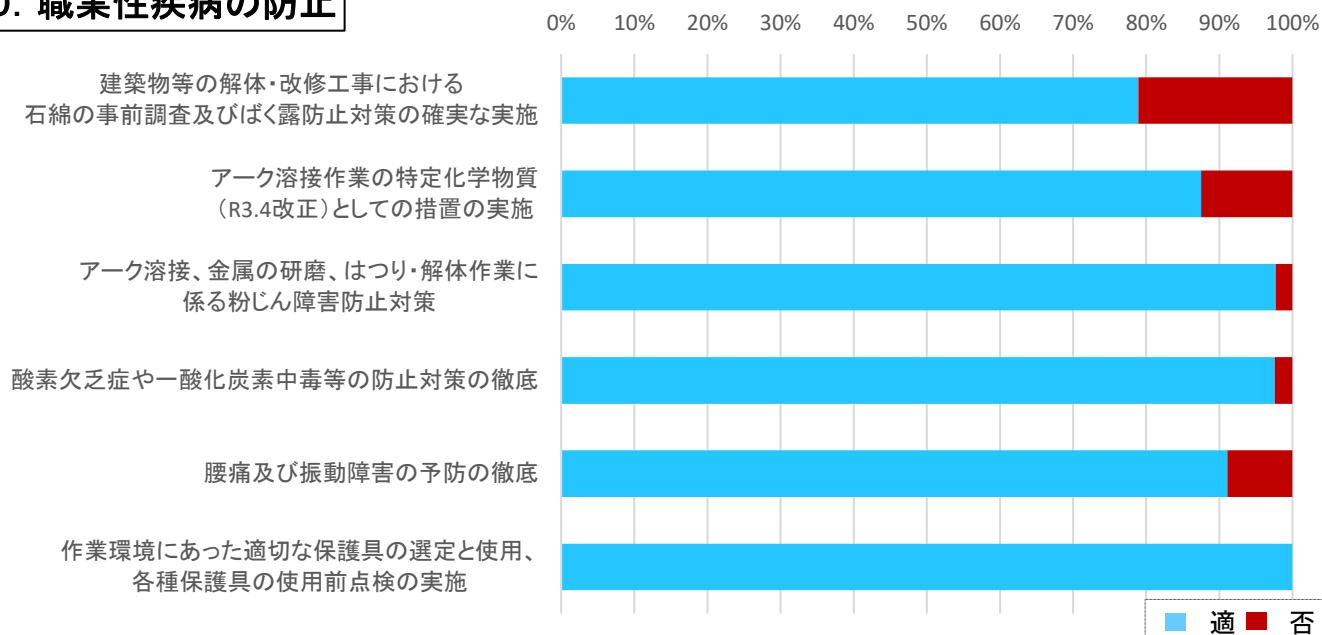
不安全行動防止の各項目の対策について98%が実施と回答されています。引き続き取組をお願いします。
見える化コンクールの活用が62%とやや低くなっており、見える化コンクールにおいては、建設現場の災害防止の取組事例が多く公表され、ホームページで閲覧可能となっておりますので、積極的に活用をいただき、各現場において工夫をしながら不安全行動の防止の取組をお願いします。

9. 安全衛生教育の実施



職長・安全衛生責任者の能力向上教育について、1割程度が実施無しと回答された。職長・安全衛生責任者は災害現場の防止のキーマンであるため、能力向上教育の受講を進めるようお願いします。
また、危険体験型教育の実施は半数が実施と回答がされ、外国人労働者に配慮した教育は76%が実施と回答されています。各現場や店社において、実情に応じた安全衛生教育を実施し、相手が理解しやすいような工夫をお願いします。

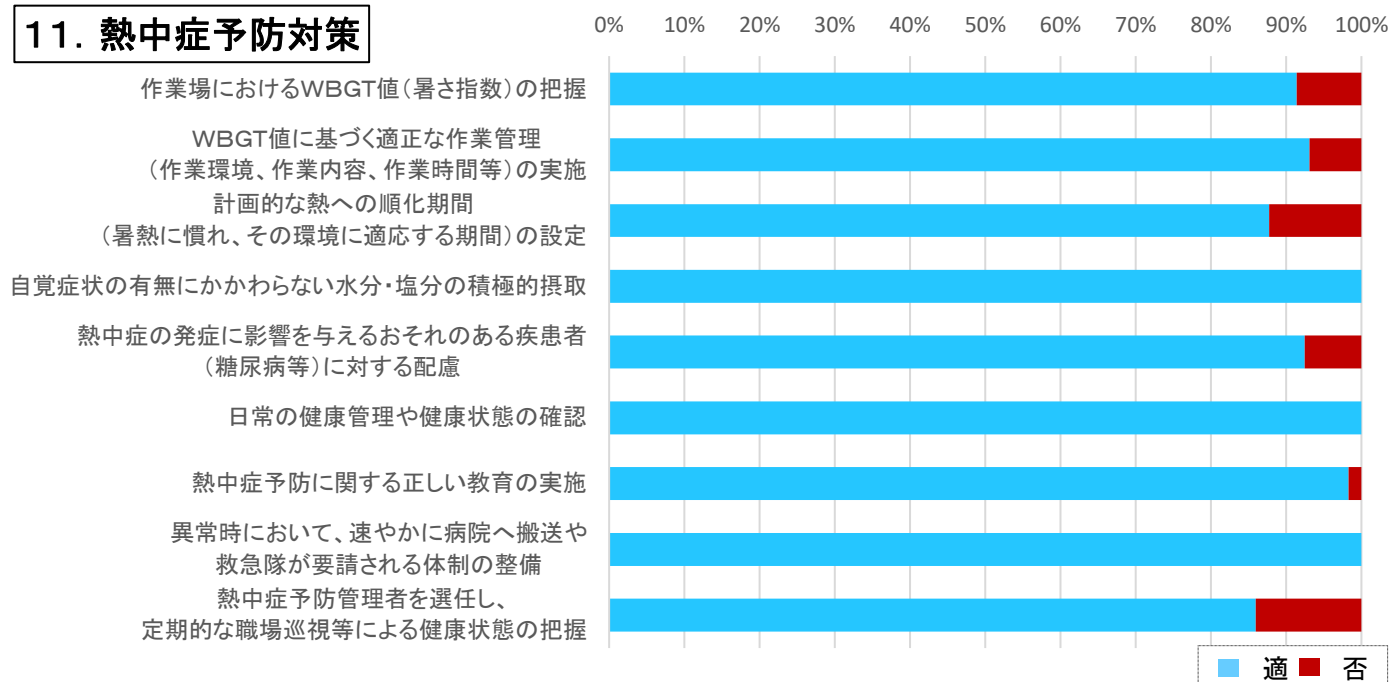
10. 職業性疾病の防止



石綿ばく露防止対策の未実施が21%、アーク溶接作業の特定化学物質対策の未実施が12%と回答されています。石綿障害予防規則、アーク溶接(溶接ヒューム)の特定化学物質障害予防規則の改正がされ、対策の強化が図られておりますので、現場における対策の徹底をお願いします。

粉じん、酸素欠乏、CO中毒の対策は98%が実施と回答、適切な保護具の使用、点検は100%が実施と回答、腰痛・振動については、91%が実施と回答された。現場で発生するリスクのある職業性疾病に対する対策の徹底をお願いします。

11. 熱中症予防対策



水分・塩分の摂取、日常の健康管理、異常の対応等は100%実施がされている。WBGT値の把握が8%、WBGT値に基づく作業管理が7%未実施と回答され、熱への順化が12%未設定と回答、熱中症管理者が14%未選任と回答がされています。上記については、令和3年度「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」に基づく取組であるため、当該キャンペーンに基づく対策の徹底をお願いします。